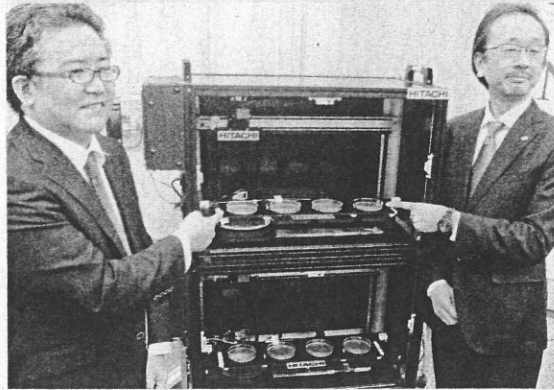


日立製作所が開発した線虫による自動がん検査装置の試作機=18日、東京都千代田区で



線虫使い尿でがん検査

日立製作所、システム開発

日立製作所は十八日、体長が約一ミリの線虫に人の尿のにおいを嗅がせ、その反応からがんを発見する自動検査システムを開発したと発表した。

二〇一九年をめどに装置の量産態勢を整え、医療現場への提供を目指す。一回数千円で、体への負担が少ないがん検査が可能になる。

九州大発のベンチャー企業HIROTSU（ヒロ

ツ）バイオサイエンスと共同研究を進める。判定の精度は約九割に達しているといい、さまざまながんの種類も特定できるようになる。

線虫は犬並みに嗅覚が鋭く、がん患者の尿に近づく一方、健康者の尿からは逃げる性質を利用する。日立が試作した装置は、線虫と尿の配置に加え、線虫の動き方の撮影や結果の解析を自動で処理する。